

地域に貢献できる民児協を目指して
瑞穂市牛牧民生委員児童委員協議会

はじめに

瑞穂市は、岐阜県の濃尾平野の北西、岐阜市と大垣市にはさまれて位置し、東には清流長良川、西に揖斐川が流れる輪中地帯にあります。平成15年に、穂積町と兼南町が合併して誕生した市です。現在の人口は55,000人を超え人口増加率、平均年齢の若さともに県下ナンバーワンのまちです。瑞穂市民児協は合併からしばらくは穂積と兼南の2つの民児協で活動していましたが、平成30年に穂積民児協を校区ごと4分割し牛牧民児協として活動することになりました。現在は、民生委員・児童委員14名と主任児童委員2名の総勢16名で活動しています。

コロナ禍での活動の現状

コロナウイルスの感染拡大は、私たちの活動にも大きな影響をもたらしました。

公共施設の利用等が出来なくな

り定例会や研修会が度々の開催中止となりました。特に民生委員・児童委員の一斉改選が行われた直後からの1年半余りの間、緊急事態宣言等により新任委員への研修が行えず、かろうじて開催出来た定例会にて活動での困りごとや諸問題を委員全員で話し合い、相談できる体制を整えました。また、高齢者の見守り訪問やサロン活動も積極的な活動が難しい状況にあります。10月になり当民児協独自にて、DVDによる研修を実施して対応しています。

しかし、コロナワクチンの2回目接種済みの割合が70%を超え、直近の感染者数もひと桁台の日が多くなり、これからはもう少し活動の幅を広げられるのではないかと期待しています。

あいさつ運動の継続

コロナ禍ではありますが、小中学校の朝の登校時のあいさつ

運動は継続的に行っています。瑞穂市では毎月1日をあいさつ運動の日と位置付けており、私たちもこの日に合わせて、牛牧小学校と穂積中学校の登校時に当番を決め、あいさつ運動を行っています。「おはようございます！」と民生委員・児童委員と子どもたちが元気に挨拶を交わしています。この日頃の活動が絆を深め、地域と学校が連携し、子どもたちを育むことにつながっています。



牛牧小学校における挨拶運動
牛牧小学校西門前

赤い羽根共同募金活動

先日は社会福祉協議会と連携して街頭募金活動を行いました。多くの善意ある市民の方々から募金をいただきました。

活動時には緑色のビブスを着



店先をお借りしての募金活動
PLANT-6

地区社会福祉協議会の
設立へ向けて

さて、牛牧民児協では、牛牧地区自治会連合会と連携し、今年度瑞穂市では初めての地区社会福祉協議会の設立に向けて、より実践的な地域に貢献できる民児協を目指して協議を重ねています。設立は4月に予定していましたが、度重なる緊急事態宣言で延期が相次ぎました。現在は12月の設立を目指しています。設立後は、より地域に貢献できる民児協として活動していきたいと思えます。

用します。広く市民の方々に民生委員・児童委員の活動が周知され理解して頂ければ、将来的に手不足の解消につながるのではないかと思います。